

もとぶ議会だより



ハイサイ

第134号

令和5年7月31日
発行

6月10日はモトウブの日



主な誌面紹介

令和5年3月定例会

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| ●一般質問一覧……………2 | ●専決処分について……………9 |
| ●一般質問……………3-7 | ●県内視察・北部地域道路網整備促進決起大会…10-11 |
| ●3月定例会・5月臨時会議決結果……………8 | ●現場踏査・編集後記……………12 |

令和
5年

3月定例会一般質問議会だより掲載一覧

掲載順	質 問 者	質 問 事 項
1	喜納 政樹 議員	1.第一渡久地橋の橋梁工事について 2.社会教育の振興について
2	具志堅 勉 議員	1.本町の指定ゴミ袋を新たにSSサイズを作成する事は可能か 2.宿泊税と入島税(水納島)の導入は可能か 3.渡久地第一橋の架け替えについて
3	山川 竜 議員	1.空き家の現状把握及び有効活用について 2.ふるさと納税の返礼品開発について 3.宿泊税導入の検討について 4.保育士への支援について
4	仲宗根 須磨子 議員	1.子どもたちが安心して学校生活を送れるように
5	具志堅 正英 議員	1. 備瀬区海岸(砂浜)の保全について 2. 町道大嵐線の整備について 3. 施政方針より

※議会だよりに掲載されている一般質問の内容は各議員が会議録に基づいて要約したものを掲載しています。

ぎかい豆知識

Q.賛成と反対の数が同じ場合、議案はどうなるの？

A.議長決裁(議長が可決・否決を決める)になります。現状維持(条例や予算を可決すると元の状態にすることが難しいため)の観点から否決することが望ましいとされています。

Q.定例会と臨時会の違いは？

A.定例会は条例で開く事が定められている議会で本部町議会は年4回(3月・6月・9月・12月)と定めています。それ以外の議会は臨時会となります。一般質問は定例会で行う事になっています。

Q.一般質問と質疑の違いは？

A.質疑は議案(条例や予算など)に対して行われ原則3回までとなっています。一般質問は本部町の行政全般について議員が町に対して説明を求めたり考え方を確認することです、本部町議会は発言時間を40分としています。

Q.議員っていくらもらえるの？

A.議員の報酬は条例に定められていて毎月支払われます。議長32万円、副議長27万3千円、常任委員長25万8千円、議員25万円のほか、夏と冬の年2回期末手当が支払われます。

1. 第一渡久地橋の橋梁工事について

2. 社会教育の振興について



一般質問

喜納 政樹 議員

1. 第一渡久地橋の橋梁工事について

喜納議員 現在、通行止めになっている第一渡久地橋の状態を伺う。
町長 現在、通行止めとなっている第一渡久地橋の状況でありますけれども、この橋は、沖縄国際海洋博覧会が開催された昭和五十年、一九七五年のことですけれども、沖縄県が県道のいわゆる橋梁として架設しております。その後、本部町へ道路ごと移管され、本町が管理をしております。第一渡久地橋の橋桁は金属製で腐食が進行していたため、町としては平成二十六年より架け替えの実施設計を行うなどその準備を進めてきておりました。しかし、沖縄県による県道八十一号名護本部線の橋梁、いわゆる渡久地橋の架け替え事業が着手されることとなったため、町と

しては地域住民の負担など総合的に判断いたしまして、第一渡久地橋の架け替えにつきましては、先延ばしをしてきた経緯がございます。そのような中、今年1月に橋桁の腐食が原因と見られる橋の沈下が確認されております。当初は沈下が見られる橋桁を避けるように、橋の片側だけを通行止めとしておりましたけれども、専門家や関係機関の意見を聞き、それを踏まえながら、利用者の安全を最優先に考え、二月三日に全面通行止めとしたところでございます。現在は、通行止めから1か月以上が経過しておりましてけれども、沈下の進行されている状況は確認されておりません。

喜納議員 第一渡久地橋は本部高校の通学路でもあり、渡久地行政区六班、野原地区に居住する本部小学校、本部中学校に通う子供たちの通学路にもなっており、現在の状態は徒歩通学の妨げになっていく。可及的速やかに対応すべきだと考えるが、今後の橋梁工事の予定について伺います。
町長 第一渡久地橋は子供たちの通学路として日々利用されておりまして、地域生活に欠かせない橋梁となっております。町としては一刻も早い架け替えに向けて、まず町単独予算による修正設計業務を、令和四年度の補正予算で提案いたしました。予算が可決されましたら修正設計を速やかに着手していきたいと考えております。そして、同時進行ですけれども、国の補助事業である道路メンテナンス事業の採択に向け手続きを進め、可能な限り早い架け替え工事に着手していきたいと考えております。

2. 社会教育の振興について

喜納議員 現在、本町においては埋蔵文化財を専門とする学芸員が不在であるが、その理由を伺います。
教育長 本町における令和四年度までの埋蔵文化財調査実施の現状であります。個人住宅建設に伴う調査を実施しております。現在、本町には専門の学芸員がいらないため、沖縄県文化財課へ職員派遣を依頼し、現地調査を実施していることもあります。専門の学芸員採用には至っていないところであります。

喜納議員 本町においては埋蔵文化財とは主に貝塚になっておりまして、今、実際に具志堅瀬底、浜元に貝塚が文化財として指定をされている中で、本町の中で周知の埋蔵文化財包蔵地と指定している場所、地域、どの程度あるのか伺います。
教育委員会事務局長 本部町の遺跡ということで一九九一年二月に本部町教育委員会が主体となって県のほうが調査を行い、まとめた冊子がございます。その中で本部半島内で捉えられております三十二ヶ所ございます。遺跡というふうな捉え方です。御嶽とか古墳もございます。

喜納議員 それだけの包蔵地がある中で、開発業者から埋蔵文化財の事前申請願が出て試掘調査を行わないといけません。現在動いているところ

1. 本町の指定ゴミ袋を新たにSSサイズを作成する事は可能か

2. 宿泊税と入島税(水納島)の導入は可能か

3. 渡久地第一橋の架け替えについて



一般質問

具志堅 勉 議員

1. 本町の指定ゴミ袋を新たにSSサイズを作成する事は可能か

具志堅議員 一、本町の指定ゴミ袋を新たにSSサイズを作成する事は可能か。家庭用ゴミ袋としても一人暮らしの方には最適だと考えています。又、スーパリーなどのレジ袋として活用出来ればお客様も喜び、CO2削減にもつながり環境にも優しく経済効果につながると思います。

町長 本町では、平成28年2月1日のごみ有料化に伴い、大、中、小の三種の指定ゴミ袋を製造しております。加えてSSサイズの指定ゴミ袋の製造及びレジ袋として使用する件につきましては、同じゴミ袋を使用している今帰仁村や本部町今帰仁村清掃施設組合

並びに町内のごみ収集事業者をはじめ、そして色んな事業者などの意見も聴衆し、それも反映させながら現実的な可能性についていかな程なのかという事で見当してまいりたいと考えております。

具志堅議員 本町のごみ袋にかかる製造や販売委託料などの費用対効果を伺います。

健康づくり推進課長 昨年実績では、約二千七百万円程度の手数料が入ってきております。

ごみ袋の製造印刷費用が九百万程度かかっております。販売委託料が年間五百七十万円程度出ているような状況であります。これを合わせた全額が大体一千五百万円程度になります。又、ごみ収集業者への委託料が昨年二千二百万円かかっております。非常に財政的に厳しい状況でありますので、しっかりと有料化等、減量化につながる事については前向きに検討してやっていきたい

と思っております。

2. 宿泊税と入島税(水納島)の導入は可能か

具志堅議員 二、宿泊税と入島税(水納島)の導入は可能か。

町長 宿泊税及び入島税は法定外目的税に当たります。法定外目的税を新設する場合には、総務大臣との細かい協議、そして同意が必要となつてきます。総務大臣への協議に当たっては、宿泊税及び入島税の関係機関となる地元のホテルなど、宿泊業者や船舶業者などの皆様方とのいわゆる合意形成も必要かと考えます。本町での導入に関しましては、県のほうとも十分な協議をしながら、今後しっかりと前向きな判断、取り組みをしていきたいとこのように考えている所でございます。

具志堅議員 入島税に関して県内離島の実績を述べさせて頂きます。平成三十年度の決算で環境協力度税

として、伊平屋村が四千万円、渡嘉敷村は一億二千五百万円の税収がありました。又、座間味村は、美ら島税として一億四百万円の実績があります。本町でも水納島に渡る際に入島税を頂く事が可能か伺います。

町長 伊是名村、伊平屋村が導入した時に我が水納島でも可能性について調査しました。市町村自治体としてのいわゆる離島では現在やっておりますけれども、実際離島での先行実績が全国ベースでの調査を見ても今確認出来ていないというような状況が一つでございます。そういった状況の中で小さなこういった離島でも出来るかどうか、その可能性などについて総務省に確認しながら前向きに進めていきたいと考えております。

3. 渡久地第一橋の架け替えについて

具志堅議員 三、第一渡久地橋の架け替えに

ついて。令和5年2月3日より、橋の老朽化で通行止めとなっております。長期にわたり通勤、通学の生活道路として活用されてきました。今後の架け替えの予定について伺います。

町長 架け替えの早期実現のため、町単独予算による修正設計業務を、令和4年度の補正予算で早急に提案しております。この補正予算が可決されましたら、速やかに修正設計に着手いたします。現在、国土交通省の補助金であります。道路メンテナンス事業の活用を念頭に沖縄県土木建築部と調整を進めており、第一渡久地橋の架け替えが一刻も早く実現出来るように取り組んでまいりたいとこのように考えております。

具志堅議員 橋の復旧も大事ですが、人が渡れる仮橋みたいな形で、つくれないか伺います。

建設課長 修正設計業務で可能な限り検討してまいりたいと考えております。

1. 空き家の現状把握及び有効活用について 2. ふるさと納税の返礼品開発について 3. 宿泊税導入の検討について 4. 保育士への独自支援について



一般質問

山川 竜 議員

1. 空き家の現状把握及び有効活用について

山川議員 町内の空き家数を伺う。

町長 平成28年から29年にかけて空き家実態調査を行い、169件、その内リフォーム困難と思われる特定空き家が61件。

山川議員 現在の空き家対策について伺う。

町長 移住者に空き家の紹介を行い、空き家解消及び定住の促進を図っている。

山川議員 関東圏から地方に移住する移住者に対して、移住支援金制度をご存じか。

企画商工観光課長 沖縄県が地域再生計画という計画を国に申請しない、取り組めない状況がある。県に問合せした所、今後、国と調整し地域再生計画を申請していくというところであるので、その後、

本町も前向きに取り組んでいく予定である。

2. ふるさと納税の返礼品開発について

山川議員 積極的な新たな返礼品開発は必要だと考える見解を伺う。

町長 積極的な返礼品開発は、自治体財源確保と地域経済活性化に極めて重要な要素だ。本町を全国にPRできる返礼品開発にこれまでに以上に取り組んでいきたい。

3. 宿泊税導入の検討について

山川議員 県も導入に向けた議論を活発化しており、いずれ県全域で宿泊税が導入される可能性が高い。県が宿泊税導入ということであれば、財源について県と本町の間の配分額はしっかり示すべきと考える。観光における新たな財源のスタートをしつかり議論し尽くす事は、観光立町として将来に渡り大切な事だと考えるが、見解を伺う。

町長 観光業界との合意形成や総務省との協

議など様々な課題等もありまされども、今後県のほうとも協議して対応していきたい。

山川議員 次年度、町独自の宿泊税導入について、検討委員会を発足する予定はあるか伺う。

町長 これまでも導入について検討した。新型コロナウイルスの影響などにより先送りになっている状況であったが、再度活性化させながら地域を含めた組織再編も視野に入れながら、前に進めていきたい。

4. 保育士への独自支援について

山川議員 よい保育を行うには保育士に余裕を持たせ、処遇を改善することが必要ですが、保育現場の実情として国基準の保育士配置数が実情に合わないということは既にご承知のことだと思ふ。実情について伺う。

町長 配置基準に関しては、全国的にも見直しの声が上がっており、本町の保育現場からも保育士負担軽減と乳幼児に対する安全確保・保育の質の向上の観点

から見直しが必要との声が上がっている。このような中、国は配置基準に関する見直しの検討をしているところであり、国の見直しに伴い、本町においても現場からの意見も伺いながら配置基準の見直しの検討、国庫補助事業を活用しながら保育士負担軽減につながる補助事業の導入などを積極的に行つてまいりたい。

山川議員 例えば、1..3の0歳児保育に関して、大変だという認識はあるか。

子育て支援課長 子育て支援課としては、渡久地保育所も管轄しておりますので、その大変さは認識している。

山川議員 一般的によく聞く、若い保育士の離職について、ぜひ継続して本部町で保育士をして頂きたいが、現状や対策について伺う。

子育て支援課長 国もその辺を懸念していて、保育士の処遇改善に当たっており、処遇改善の3つのプラン立てをし、対応している。山川議員 我々はもっと関心を持って保育士

さんに目を向けていくべきじゃないかと思うが、町長の見解を伺う。

町長 人間形成における幼児期の教育というのは極めて大切だと思つている。世間では保育所に係る様々な問題・課題が露呈しているというのにも承知している。その中で保育士の皆さんが生きがいを持って仕事ができる環境整備、これは重要なことだと思つている。

どのような実態、課題が横たわっているかといったことをこれまで以上にまたしっかり調査しながら対応していければと思つている。

山川議員 本町の保育士への独自支援が必要ではないか。

町長 子どもを産み育てやすい環境づくりといったことの観点から、社会全体で子ども達を育て上げていくことで、まだまだわが町にはいろんな形で地域から協力できる態勢もあるうかと思つているので、様々なアイディアを出し合いながら、その環境をつくり上げていければと思う。

1. 子どもたちが安心して学校生活を送れるように



一般質問

仲宗根 須磨子 議員

仲宗根議員 「生理の

貧困を考える会おきなわ」という団体の考え方に背中を押されて今日の一般質問に至りました。その団体の発行した一枚のチラシには「なぜ学校のトイレに生理用品を設置する必要があるの?」という見出しがあり、続いて「トイレレットペーパーがなかったらどう思いますか?あるのが当たり前だと思ってるのは尿や便が生理現象であり、トイレレットペーパーがないと困るからではないですか?女性の生理も生理現象です。トイレレットペーパーと同じように生理用品も置いてほしいですね。」とありました。この文言を見た時、私は目からウロコが落ちるような思いでした。私自身も女性でありながら生理用品は

自分で準備をするのが当たり前だと思ってきたし、思わされてきたことに気づいたからです。それが生理現象である以上、トイレレットペーパーがあるのと同じようにナプキンも女子トイレにあつていいよねという考え方に共感しました。それでは今日は忌憚なくオーブンに一般質問で議論を重ねていきたいと思えます。

教育長 「本町においても全ての子供たちが安心して快適に学校生活を送れるように学校のトイレに生理用品を設置することを検討する必要がありますか?あるのではないかと。そういう計画があるかどうか」についてお答えします。現在、生理用品については学校の保健室で必要とする生徒に対して無償で配布しております。学校のトイレへの設置については現在のところ計画はございません。教育委員会としては令和4年度に県が実施した調査結果などを踏まえ、検討する必要があると捉えております。

仲宗根議員 保健室においてあるのもいいと思います。しかし子供たちの90%以上がトイレの個室に置いてほしいというアンケート結果があります。教室から保健室にナプキンを貰いに行き、さらにトイレへ行き教室に戻って来るといふ流れが休み時間の10分間では、とても足りない。トイレの個室に備えてあれば次の授業にも遅刻することなく望めるということなんです。

教育長 県の調査ではトイレに設置されていない学校が37%くらいあるとのこと。衛生面や生徒指導面が気になるかと、直接、保健室に来てくれたら指導もできるし、コミュニケーションを通して、より学校や家庭の様子がわかるようになり、もっと幅広い支援ができるという考えがあるようです。

仲宗根議員 ナプキンは一個ずつ個包装されていてトイレレットペーパーよりもはるかに清潔です。子供たちが生理用品で悪ふざけをするような事があれば、それは知識がないからに過ぎません。いい機会だと捉えて男女問わずに生理について、きちんと教えることが大事なのでは。それが教育というものだと思えます。生理は尿や便のように、ある程度我慢できるものではありません。自分の意思と関係なく経血が起ります。生理周期の安定してない子供たちは、突然やってくる出血で衣服を汚したり、お腹の痛み等による体調不良が原因で不登校やひきこもりになる可能性もあります。それが学力低下の要因にもなりうる。内気な子ほど保健室に行けず苦しんでいるのではないだろうか。経済的困窮、ネグレクトや虐待、父子家庭という環境下にある等の理由で生理用品を手に入れる事ができず、周りに助けを求めず、周りでできず辛い思いをしている子供たちがいる事も懸念される。そういう子供たちは勿論の事すべての子供たちが一日の大半を安心

して快適に過ごせるような学校の環境を整えるのが私達、大人の責任ではないか。現行の保健衛生費に加えて、民間からの寄贈品も活用し、足りない分があれば予算化しトイレの個室にも常備する事を提案します。せっかくの予算をより子供たちの望む形で活用したらいかがでしょうか。

教育長 トイレにも設置しようという方向で検討を深めていきたい。貴重な提言ありがとうございます。貴重な提言を聞かせていただきました。全ては子供たちが生活しやすい環境の体系を新たな視点から考えていく必要があるという思いと、もっともつと女性の立場で生活しやすい環境を整えるという事を我々真剣に考えていかないとけない。教育現場と議論をし、予算を持つ行政の立場から、しっかりと検討していきたい。

具志堅議員 統括監の設置で本町の行政組織が強化され、住民生活が豊かになっていくものと思います。町長には頑張っていたかたと思います。

令和
5年**第1回本部町議会定例会(3月)審議案件一覧**

議案番号	件 名	議決の結果
報告第1号	令和5年度沖縄県町村土地開発公社事業計画について	報告
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(本部町職員定数条例の一部を改正する条例の制定)	原案可決
議案第2号	本部町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	原案可決
議案第3号	本部町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	原案可決
議案第4号	本部町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第5号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第6号	本部町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第7号	本部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第8号	もとぶ文化交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第9号	本部町製氷荷捌き施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第10号	もとぶ文化交流センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第11号	町道の路線変更について(謝花嘉津宇線)	原案可決
議案第12号	町道の路線変更について(具8号線)	原案可決
議案第13号	令和4年度本部町一般会計補正予算について	原案可決
議案第14号	令和4年度本部町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第15号	令和4年度本部町後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第16号	令和4年度本部町公共下水道特別会計補正予算について	原案可決
報告第1号	予算審査特別委員会委員長報告	報告
議案第17号	令和5年度本部町一般会計予算について	原案可決
議案第18号	令和5年度本部町国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第19号	令和5年度本部町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第20号	令和5年度本部町公共下水道特別会計予算について	原案可決
議案第21号	令和5年度本部町水道事業会計予算について	原案可決
議案第22号	副町長の選任同意について	同意
議案第23号	本部町教育委員会委員の任命同意について	同意

令和
5年**第2回本部町議会臨時会(5月)審議案件一覧**

議案番号	件 名	議決の結果
報告第2号	専決処分の報告について〈本部町学校給食共同調理場改築工事(機械)〉	報告
議案第24号	専決処分の承認を求めることについて(職員の給与に関する条例)	不承認
議案第25号	専決処分の承認を求めることについて(本部町税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第26号	専決処分の承認を求めることについて(本部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第27号	本部町ガラス系資源リサイクル施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第28号	令和5年度本部町一般会計補正予算について	原案可決
決議第1号	議員派遣の件	原案可決

6月臨時議会 議案第24号「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」について、専決処分が不承認された件について

●議案第24号の専決処分書の抜粋

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、地方自治法第179条第1項の規定により、専決処分したので、同条第3項の規定により報告し、承認を求める。

提案理由

新たに統括監の職務を設置したことに伴い、職員の給与に関する条例の一部を改正する必要がある。議会を招集する時間的余裕がないことから、専決処分する。

議員意見 以下、令和5年第2回臨時会会議録より抜粋

統括監という新たな職を設置したということで、統括監の役割や町政に対してどのような影響があるのかを色々と議論した上で進めていくのを望んでいましたが、専決処分という方法で出てきた事に対して驚きと議会軽視と言わざるを得ません。

理由として、議会を招集する時間的余裕がないことから専決処分したということではありますが、時系列から追っていくと、3月9日に定例議会の施政方針の中で、町長は統括監設置に関することをおっしゃっていました。行政当局として流れとして、その時点で関係条例、関係規則の整備に動くべきだと思っておりました。しかし、議会ではそれもなく、その後4月1日に専決処分して今に至っております。時間的な余裕がないとおっしゃっておりますが、3月定例議会を延長してでも専決処分ではなく、条例の改正をすべき時間があつたと思います。そういう事からも議会を招集する時間的余裕がないということは、理由にあたらないと思います。

当局の見解

本来ならば、議会の延長、臨時議会でなすべきであるのは承知しております。臨時議会も視野にいれてましたが、間に合わないのが現状でした。いくつかの方法も検討しましたが、期間が短かった為、専決処分させていただいたということでございます。

新しい時代を迎えるこのタイミングというようなことで急遽急いだ訳であります。コロナ後の疲弊した地域経済、観光経済、地域をどう元気づけるのかを考えた中で急がなければならない時代背景を迎えたというようなことの中で、急いで意思決定したというようなことであります。その意思決定の中で十二分に考え方が浸透できなかった事については、反省しながらこれからの対応に生かしていきたいと思っております。

●「専決処分」とは、

本来は議会が議決しなければならない事件を、時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などに、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、例外的に町長等が議会の議決に代わり意思決定することです。専決処分には、2種類あります。

1つ目は、時間的に議会の招集を待てない場合などの専決処分です。この場合、議会への報告と、議会の承認が必要です。

これまでの例では、特に緊急を要するものとして、大雨や台風による災害復旧のための応急措置などがあります。

2つ目は、軽微な内容で、あらかじめ議決によって指定(委任)している専決処分です。この場合、議会への報告は必要ですが、あらかじめ指定しているので承認は必要ありません。

議決を経た契約の変更のうち一定額を下回るものなど、あらかじめ定めた上で専決処分を行っています。

本部町議会県内視察



読谷漁港セリの様子



沖縄ハム読谷工場を視察

北部地域の道路網の整備促進並びに 離島架橋の早期実現に向けた決起大会

令和5年4月27日、名護市民会館にて北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋の早期実現に向けた決起大会が行われました。大会宣言では、北部12市町村「やんばるはひとつ」、一体となって命と暮らしを守る道づくりの推進に果敢に行動していくこと誓うと宣言され、最後にはがんばろう三唱が行われました。



本部町議会県内視察の報告

広報調査特別委員会

委員長 仲宗根 須磨子

令和5年6月9日～6月10日の1泊2日で県内視察が次の行程で行われた。

6月9日(1日目) 8時30分(役場出発)→10時(読谷村都屋漁港視察)→11時20分(読谷村沖ハム工場視察)→14時(うるま市うるマルシェ視察)→17時(那覇市ホテル着)

6月10日(2日目) 10時30分(ホテル出発)→11時(糸満市お魚センター視察)→13時(パレットくもじ前広場：610もとぶの日イベント参加、視察)→視察終了後役場へ

読谷村の都屋漁港では、セリのまっ最中。様々な鮮魚が並ぶ中、グルクンが大量に水揚げされていた。県内大手の卸業者(2社)が購入することになっていて、この時期は毎日、大量に水揚げされるとのこと。5kgずつビニール袋に小分けされ、ひと袋ずつ氷といっしょに発砲スチロールの箱に入れられ、どんどん冷凍車に詰めこまれて行く。仲買人の他に地元住民や観光客も見学に訪れていた。セリが終わると荷さばき所隣の直売店に鮮魚が並び一般の人達でも購入出来る仕組みになっている。2Fでは海産物料理の食事ができるようになっていて、海外からの観光客も増え、既存の施設では対応できない状況にあるとのこと。港内には船体に「最大搭載人員35人(旅客24人)」と書かれた船が停泊していた。漁の様子を旅客が見学できる造りになっていることから観光漁業船だとわかった。

沖ハム工場では、会長が自ら、杖をつきながらも元気に案内し、説明もされていた。大型バスで観光客も訪れ、オキハムの数多くの商品の中から、お土産を買い求めている。会長が力を込めて語ったのは戦後の何もない焼け野原の状況から産業を始めたこと。短い時間ではあったが経済人としての熱い思いに加えて、地域への貢献、人材の育成、文化や自然環境を大切に守り、二度と戦争のない平和な世界を築いていくことへの強固な思いを力説していた。

うるマルシェは農産物を中心に加工食品等を販売。本部町のかりゆし市場の4～5倍くらいの広さで品数も充実。客数も多く、それぞれ目当ての品々をカゴ入れレジに並んでいた。お魚センターも規模が大きく、鮮魚やさしみ、にぎり等の他にも海産物が様々あり、目の前で焼く焼き鳥等のおいしそうな匂いもたちこめていた。他にも手軽にイカ墨汁を作ることができるように2～3人分の具材がパックになり持ち帰りできるようになっていた。

パレットくもじ前広場では第9回もとぶの日が開催され、出店は商工会や観光協会、郷友会の皆さんでにぎわっていた。町長が本部町の特産品を大体的にアピール。アセロラ、シークワサー、パイン、マンゴー、パッションフルーツ、キレキンゴヤー等や、その加工品、そしてあじさいの花に至るまで。本部町の歌手(島成美さん)のステージもあり、大いに活気づいていた。

今回の視察研修を終えて、これからのわが町づくりに生かせそうな、参考になるヒントが少なからずあったと感じました。

現場踏査実施



伊豆味みかんの里



伊豆味小中学校体育館



新浄水場



町営具志堅団地

●現場踏査とは、

予算審議に関する現場へ直接足を運び全議員で踏査(現地調査)すること。

3月定例会にて、現場でそれぞれの事業について詳細な説明を受けながら踏査を行いました。

全議員で確認することにより、机上だけではわからない課題や指摘箇所について、その場で意見や要望を伝えながら役場職員とともによりよい町づくりにつなげています。

本部町議会は3月・6月・9月・12月と年4回の定例議会が開催されます。

お問い合わせは議会事務局まで 電話 0980-47-2651

編集後記

ハイサイグスソーチュウウガナビラ梅雨も明け本格的な夏の青空が戻って来ました。

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行されました。それにより町内外でいろいろな行事が計画されました。もとぶの日の慰霊祭、クルーズ船日本丸の寄港、子供たちの運動会や部活、北海道南富良野町との親善交流会、海洋博記念公園の花火大会等も開催される予定です。これからは各地域の行事も行われるでしょう。観光客も多くなります。人々の交流が活発になります。新型コロナウイルス感染症も段々と増加傾向にありますが町民の皆様も油断することなく、人の多い場所では手指消毒、マスクを着用し新型コロナウイルス感染防止し、日々健やかに過ごしましょう。私たち議会広報委員も分かりやすい広報誌づくりを心掛けております。町民のご支援とご協力をお願い申し上げます。

議会広報委員

具志堅 正英

もとぶ議会だより

ハイサイ 第134号

発行 本部町議会

編集 本部町議会広報

調査特別委員会